

一般社団法人地域医療・福祉研究所
第4回社員総会
2017年度事業報告と2018年度事業計画
決定集



一般社団法人 地域医療・福祉研究所

2018年6月

【 目 次 】

目 次	1
1 はじめに	2
2 一般社団法人地域医療・福祉研究所 第 4 回社員総会議事録	3
3 第 1 号議案 アルスヴィータ 2017 年度事業報告並びに決算報告	4
3.1 一般社団法人地域医療・福祉研究所のめざすもの	
3.2 会員の状況について	
3.3 2017 年度 部門別事業報告	
4 第 2 号議案 アルスヴィータ 2018 年度事業計画並びに予算案	9
4.1 地域医療・福祉をめぐる情勢の特徴	
4.2 2018 年度 事業計画の重点	
4.3 2018 年度 部門別事業計画	

1. はじめに

1.1 一般社団法人地域医療・福祉研究所第4回社員総会の開催について

一般社団法人地域医療・福祉研究所第4回社員総会を以下の日程で開催します。

1. 日 時 2018年6月14日 午後1時から 3時
2. 場 所 一般社団法人地域医療・福祉研究所 事務所
〒164-0013 東京都中野区弥生町1-54-17-101
3. 議 案
第1号議案 2017年度事業報告並びに決算報告、監査報告承認の件
第2号議案 2018年度事業計画並びに予算案承認の件

1.2 今総会の意義と任務

一般社団法人地域医療・福祉研究所(以後アルスヴィータ¹)は、発足から4年目を迎えます。当初掲げた創立期5カ年計画の折り返し点をすぎ、社会的な存在価値や役割発揮が問われ、事業的に継続できるかどうかの分岐点を迎えています。

アルスヴィータは、5カ年計画で

- (1) アルスヴィータの理念の社会的認知を広げる
- (2) 住民主権を生かした医療・福祉事業を共同して研究・実践する自治体や団体を広げる
- (3) 職員、研究員の確保と育成をすすめる
- (4) 経営的基盤を構築する

を目指して活動してきました。

本総会は、これらの到達点を評価し、創立期5カ年計画の後半の事業課題と目標を決定することを任務とします。

特に第4期は、

- (1) 新たなメディア構築によるアルスヴィータの認知の拡大をめざす
 - (2) アルスヴィータの当面の活動分野を明確にし、共同する自治体、団体を広げる
 - (3) 役員の補充と研究員の確保を行う
 - (4) アルスヴィータの安定的発展を保障する事業分野別の経営基盤を構築する
- の4点を重点課題とします。

¹ アルス(ars)は、実践、技、とりくみを意味するラテン語で、ヴィータ(vita)はいのち、活力を表します。「いのちのとりくみ」が含意で、一般社団法人地域医療・福祉研究所の愛称としています。

2. 一般社団法人地域医療・福祉研究所 第4回社員総会議事録

4. 日 時 2018（平成30）年6月14日午後1時00分 から 2時30分

5. 場 所 一般社団法人地域医療・福祉研究所 事務所
〒164-0013 東京都中野区弥生町 1-54-17-101

1. 出席社員 藤谷 恵三 高橋 伸 藤谷 哲平

2. 議 長 藤谷 恵三

3. 議事録作成者 高橋 伸

4. 議事の経過の要領及びその結果

出席社員	議決権のある総社員数	23名
	この議決権の総数	23個
	出席社員数	3名
	この議決権の総数	3個
	書面議決数	12名
	この議決権の総数	12個

日野理事長が病気療養中のため、理事会決定により、藤谷専務理事が議長に就いた。

上記のとおり定足数に足る社員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。

（議決事項）

第1号議案 2017年度事業報告並びに決算報告、監査報告承認の件

議長は、本議案につき賛否を諮ったところ、出席社員並びに書面議決書での異議なく満場一致を持って原案を承認可決した。

第2号議案 2018年度事業計画並びに予算案承認の件

議長は、本議案につき賛否を諮ったところ、出席社員並びに書面議決書での異議なく満場一致を持って原案を承認可決した。

以上をもって本総会における全議案の審議を終了したので、議長は午後2時30分閉会を宣した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議長及び出席した理事が次に記名押印する。

2018（平成30）年6月14日
一般社団法人地域医療・福祉研究所 第4回社員総会

3. 第1号議案 アルスヴィータ 2017年度事業報告並びに決算報告

3.1 一般社団法人地域医療・福祉研究所のめざすもの

日本の社会が急速に超高齢化、人口減少に向かう中で、住民がいのちとくらしを守りながらまちに住み続けることができるかどうか焦眉の課題になっています。

同時に、激変する社会保障制度や国の相次ぐ社会保障費の削減、医療・介護などの自己負担増の中で、国民の各層に格差と貧困が蔓延しています。

こうした情勢のもとで、必要な保健・医療・福祉のサービスを確保できるかどうか、地域存亡の焦点の一つになっています。

アルスヴィータは、この保健・医療・福祉の問題を地域住民とともに解決することを目的に設立されました。

アルスヴィータは、その目的を達成するため、広く地方自治政策、地域活動、協同組合運動、医療・介護事業に関心を有する経済・社会・政治・法律・文化・自然科学にかかわる研究者と実践家の結集をめざしていきます。

とりわけ、地方公共団体や協同組合、医療法人、社会福祉法人、NPO 法人など非営利組織を中心に、その政策と事業に資する活動をすすめる、同時にその担い手の確保と育成を重視しています。

3.2 会員の状況について

- 2017年度の会員数は、団体会員5、個人会員37人です。
- 会員数の推移は以下の通りです。

年度	正会員				賛助会員				合計
	個人		団体		個人		団体		
	実数	増減	実数	増減	実数	増減	実数	増減	
2015年度	16	-	2	-	11	-	2	-	31
2016年度	19	+3	2	0	14	+3	3	+1	38
2017年度	21	+2	2	0	16	+3-1	3	0	42

3.3 2017年度 部門別事業報告

(1) 調査・研究部門

① 南大東村の高齢者福祉・介護計画策定業務の受託

- 2016年度に続き、南大東村より「南大東村高齢者福祉・介護計画」(2017～2021)の策定作業を受託し、同計画の策定を支援しました。
- 2017年10月14～17日に南大東村職員と北海道の地産地消や福祉事業(当別町の社会福祉法人「ゆうゆう」と町社協、札幌市社会福祉法人「協立いつくしみの会」)の視察を行い、アルスヴィータの提案する南大東村福祉・介護計画での「うふあがり共生元気むら」構想の具体化を進めました。
- 「南大東村高齢者福祉・介護計画」のダイジェスト版を作成し、仲田村長に提出し、懇談しました。
- 「南大東村高齢者福祉・介護計画」は、実施段階に入り、介護福祉専門員や保健師の確保などを課題として確認しました。南大東村では、計画に基づき2017年度に介護福祉専門員と保健師の確保に成功しました。

② 竹富町の医療福祉視察の実施

- 2017年10月31日に竹富町の福祉支援課より、「多くの離島を抱える竹富町で、島ごとのニーズを把握し、必要な医療福祉サービスを提供するためにどうしたらいいかを直接相談したい」旨のメールがありました。
- 竹富町に係る文献調査を行い、資料収集の上、1月18日～20日に第1次現地視察を行いました。
- 視察では、1月18日に竹富町福祉支援課(課長以下5名)と竹富町の医療福祉の現状についてのお話を伺い、その後小浜島の診療所とデイサービスを視察しました。1月19日は、波照間島のNPOの運営する小規模多機能型居宅介護、診療所を視察、竹富島では、診療所を見学しました。
- 2月2日に報告書を提出し、4月に第2次視察として、西表島の2つの地区、黒島を視察すること、2回の視察を踏まえて、竹富町での医療福祉課題についての提言とアルスヴィータの支援内容について検討することとしました。

③ 沖縄県との懇談

- 6月と7月の2回、沖縄県庁の子供生活福祉部、高齢者福祉介護課、福祉政策課を訪問し、沖縄県の「『我が事・丸ごと』地域共生社会」のとりくみの現状、介護保険事業についてお伺いし、同時に南大東村でのアルスヴィータのとりくみの報告を行いました。

④ 沖縄県介護保険広域連合への提案

- 6月に沖縄県介護保険広域連合会を訪問し、第7次介護保険事業計画の策定の進捗状況、南大東村での新たな介護サービスの開始についての見解等をお聞きしました。

⑤ 『我が事・丸ごと』地域共生社会』の政策研究とモデル事例の調査

- 年間を通じて厚生労働省の『我が事・丸ごと』地域共生社会』関係の審議会の傍聴を行いました。
- 10月に厚労省の『我が事・丸ごと』地域共生社会』のモデルとされている北海道当別町の社会福祉法人「ゆうゆう」、町社会福祉協議会の視察を行いました。
- 2018年2月26日厚労省・全社協主催の『我が事・丸ごと』地域共生社会』フォーラムに参加し、自治体の取り組みの現状や課題について学びました。

⑥ 2018年診療報酬、介護報酬等の改定に関する調査・研究

- 2018年度の医療、介護、障害者にかかる報酬制度のトリプル改定の審議会(社会保障審議会、中央社会医療協議会など)を傍聴し、厚労省の資料等の分析と情報発信を行いました。
- 医療福祉生協、社会福祉法人などへの影響についての考察を行い、政策提言、講演活動を行いました。

⑦ 医療福祉生協の診療所の経営実態調査

- 2016年度に引き続き医療福祉生協の診療所の経営実態調査を行いました。
- 調査内容は、経営状況、医事・介護の内容や患者・利用者の動向、周辺の組合員組織の状況などです。
- 調査した法人は、なにわ保健生協、けいはん医療生協、北多摩中央医療生協、ながおか医療生協でした。

(2) コンサルティング部門

① 自治体住民支援活動

- 7月25日に東京都稲城市の市民と稲城市での医療福祉生協づくりについて懇談しました。今後も懇談を重ねて実現に向け協議することとしました。
- 秋田県秋田市、新潟県村上市の住民の方々と地域の医療福祉の課題についての意見交換を行いました。

② 医療福祉事業支援活動

- 会員や事業者からの要請に応じたコンサルティングを実施しました。

- 支援要請のあった法人の経営支援、人材確保支援、MBO(目標管理)導入支援などを行いました。

地域	経営戦略 予算づくり	MBO 職員教育	理事会 組織運営	医師確保 職員採用	幹部確保 幹部育成	まちづくり 地域調査
合計	4	2	4	4	3	0

(3) 教育・研修部門

① 協同組合教育研修支援活動

- けいはん医療生協の幹部育成研修(12回:2017年6月～2018年5月)を支援しました。
- 幹部育成研修のテキスト作りや専門家との連携作りができました。

	2017							2018				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
午前	研修説明	自己紹介	経営数字を読む				2018年 度方針	経営数字を読む				視察 研修
	医療福 祉 生協論	情勢分 析演習 1	生協組 織論	経理実 務演習	医療・ 福祉経 営論	行政文 書解説 演習		メンタ ルヘル ス	MBO 理論と 演習	経営分 析・経 営診断	医療福 祉生協 のトップ 幹部論	
午後	生協法 演習	医療・ 介護労 働論	地域分 析入門 演習	政治 経済学 概論	方針作 成演習	社会保 障論	策定論 議合宿	まちづ くり論	アサー ティブ コミュニ ケーション	まとめおよび来月のオリエンテーション		
	まとめおよび来月のオリエンテーション						まとめおよび来月のオリエンテーション					

② 講師派遣活動

- 日野理事長、藤谷専務を中心に、講師活動を行いました。

テーマ	4～9月	10～3月	合計
情勢関連	2	1	3
介護関連	1	2	3
医療関連	2	2	4
社会保障関連	3	2	5
協同組合・他	1	2	3
合計	9	9	18

(4) 出版・メディア事業部門

研究事業の成果や教育活動の内容などを書籍やCDとして出版しています。2017年度は、以下の出版活動を行いました。

① 「これからの日本と社会保障、そして私たち」の発刊

- 日野秀逸理事長の東京都生協連での講演内容を著書として2017年7月にあけび書房から発刊しました。初刷1,000部が完売し、8月に第2刷1,000部を発行しました。
- この書籍は、医療福祉生協連の取り扱い書籍となりました。

② けいはん医療生協小規模多機能型居宅介護PV（プロモーションビデオ）の製作

- けいはん医療生協の経営検討の中で、小規模多機能型居宅介護のサービス内容が組合員や職員に知られていないことが問題点として浮かび上がり、組合員や職員に知らせるためのPV製作を受託しました。
- PVの企画、撮影、ナレーション、編集をアルスヴィータが行いました。製作期間は約半月でした。

(5) 広報活動

① ホームページ

- 2017年度は、ホームページ(2015年11月開設)を23回更新し、研究所の目的や活動のほか、イベントやセミナー、出版物を紹介しています。

② フェイスブック

- フェイスブック(2016年1月開設)で研究所の活動内容の紹介や医療福祉関連の政策とそれに関するコメントの発信を行っています。2017年度は、23回発信しました。

③ メールマガジン

- 会員メールマガジン(2016年2月開設)は、2017年度21号を発行し、通算69号になりました。広く憲法や社会保障、平和や労働組合運動、高齢者問題や住宅問題、政策の審議状況などについての情報提供を行っています。

4. 第2号議案 アルスヴィータ 2018年度事業計画並びに予算

4.1 地域の医療・福祉をめぐる情勢の特徴

(1) 安倍政権の憲法違反の政治を乗り越え、2030年代の日本社会を見据えた地域戦略が必要

- ① 安倍政権のすすめる戦争政策やアベノミクスと国民の願い、生活との矛盾がますます拡大し、多くの分野で嘘やごまかしがまかり通る状況が広がっています。
- ② 超高齢化や人口減少などの問題を解決する地域ごとの戦略づくりが求められています。
- ③ 日本の超高齢社会に向けた戦略が世界、とりわけアジアのモデルとなる可能性があります。

(2) 国の社会保障削減政策と地域の暮らし、医療・福祉の実態との矛盾が拡大

- ① 社会保障費の削減策は地域の矛盾を広げ、合理性の限界を超えています。
- ② 地域の貧困対策と格差是正、健康不安の解消、孤立防止が焦眉の課題です。
- ③ 基礎自治体の社会保障政策策定と住民のとりくみを支援する必要があります。
- ④ 地域住民が自主的に医療・福祉を確保する運動をつくる必要があります。

(3) 地域医療構想、人材確保難、医師の働き方改革などへの対応が求められる

- ① 2018年トリプル改定への対応が求められます。
- ② 政府の「『我が事・丸ごと』地域共生社会」は、国の責任を放棄して自治体や住民に役割を押しつけており、住民主体の地域包括ケアとは対立します。
- ③ 社会保障の充実による地域包括ケア戦略と事業づくりが求められています。
- ④ 医療や介護・福祉分野の人材の確保・育成が焦眉の課題になります。
- ⑤ 医師不足、医師の働き方改革の行方を見据えた事業戦略が必要です。

4.2 2018 年度 事業計画の重点

(1) 理論・研究活動の強化

① 医療・福祉に関するアルスヴィータの研究課題・テーマ

- アルスヴィータの 2018 年度の主な研究テーマを以下の通りとします。
 - A) 「健康寿命」と「幸福度」の関連について
 - B) 住民運動としてのフレイル予防について
 - C) 協同組合と MDGs(ミレニアム開発目標)について
 - D) 家庭医療学研修支援診療所の事業経営について
 - E) WHO のヘルスプロモーションと HPH(健康増進拠点病院)について
 - F) 医療福祉事業を支える住民組織のあり方について
 - G) 住民主体の地域共生社会と『我が事・丸ごと』地域共生社会について
 - H) 社会的共通資本と生活協同組合について

② 政府の医療・福祉政策の研究

- 『我が事・丸ごと』地域共生社会の「自助」中心主義と社会保障解体の批判的研究を行います。
- 「新オレンジプラン」「データヘルス計画」などの政策評価と実践課題について研究を行います。

③ 医療・福祉のまちづくりの研究

- 自治体の介護・福祉計画づくりに関与し、地域の医療・福祉づくりを支援します。
- 協同組合づくりなどを通じて住民が主体的に地域の医療・福祉をつくる運動に参画する機会を増やします。

(2) 会員・研究員の拡大

① 賛助会員を 10 団体、個人会員 50 人にします。

- 団体会員の拡大のために新たな会員サービスを検討します。
- 学生・若者の加入を重視します。

② 研究者・実践家の加入を推進し、調査研究活動を前進させます。

- 研究者、実践家との共同研究や交流を進めます。
- 若者がアルスヴィータの研修や教育プログラムに参加して成長し、医療・福祉の担い手になるよう支援します。

(3) 広報活動の強化

① ホームページを定期更新し、フェイスブック、メルマガを定期発行します。

- ホームページは月 2 回更新、フェイスブック、メルマガは週 1 回発行します。

② 新たに広く知人へのニュースレターとブログ等を発行します。

- アルスヴィータの理念や政策提言、活動を知らせるニュースレターを発行します。
- アルスヴィータの理論活動や思想をブログに掲載し、アーカイブを作ります。
- Podcast を使った対談等の放送を検討します。

(4) 5ヵ年計画の達成を目指し、剰余を確保します。

- ① 5ヶ年事業計画達成の基礎をつくります。
 - 着実に剰余を確保し、2018年度に累積欠損解消の展望を拓きます。
 - 沖縄県の基礎自治体と福祉のまちづくりの共同を進めます。
- ② 2018年度、450万円の経常剰余を確保します。
 - 売上総利益 1,500 万円をめざして事業活動を広げます。

(5) 研究者・実践家との提携を強め、事業拡大をすすめます。

- ① 調査研究やコンサルティングを担当する専門家と業務委託契約を結びます。
 - 医療・福祉事業経営の経験のある専門家と業務委託契約を締結し、調査研究、コンサルティングの事業を強化します。

4.3 部門別事業計画

(1) 調査・研究部門

- ① 沖縄県の離島での医療・福祉計画の策定を支援します。
 - 沖縄県竹富町の高齢者要求調査の受託をめざします。
 - 沖縄県と連携して離島の医療・福祉事業計画策定を支援します。
- ② 稲城市などでの医療福祉生協づくりを支援します。
 - 2019年度の法人設立をめざす地域活動を支援します。
 - 医療福祉生協に必要な人材の確保と育成を支援します。
 - 新潟県村上市での医療福祉生協設立の検討を行います。
- ③ 東京都内の自治体の医療・福祉政策やくらしの実態調査を行います。
 - 中野区、杉並区、世田谷区、新宿区、三鷹市、小金井市、多摩市、日野市、狛江市、調布市などの自治体の医療・介護・住まいの実態の調査を順次行います。
 - それぞれの地域で求められる医療・介護事業の内容等について提言をまとめます。
- ④ 引き続き診療所経営調査研究（CMI:診療所マネジメント向上プログラム）を行い、参加事業所を増やします。
 - 会員法人の診療所経営と運営改善を支援します。
 - 診療所周辺の組織作りと健診・医療・介護の地域戦略づくりを支援します。

(2) コンサルティング部門

1) マネジメント関連部門

- ① 沖縄県南大東村の「福祉・介護計画」実現を支援します。
 - 南大東村の人材確保を支援します。
 - 南大東村社会福祉協議会の事業活動を支援します。
- ② 竹富町の医療・福祉事業を支援します。
 - 沖縄県竹富町の人材確保を支援します。
 - 沖縄県や市町村と連携して離島の医療・福祉コンサルティングを実施します。
- ③ 医療・介護事業を行う法人の総合コンサルティング事業を行います。
 - 関東、関西を中心に5法人のコンサルティングを行います。
 - 会員の要請に応じた各種コンサルティングを行います。
- ④ 医療・介護事業を担う人材確保のコンサルティングを行います。
 - 自治体や事業者の人員募集状況を掴み、マッチングのためのコンサルティングを行います。
 - 家庭医を中心とする医師の確保と研修場所確保のためのコンサルティングを行います。

2) 教育・研修部門

- ① 医療・福祉事業者の幹部・後継者育成のための連続講座(塾)を実施します。
 - 若手の幹部予定者の教育事業として塾を開催します。
- ② 医療・福祉に関するセミナーを実施します。
 - 医療・介護の事業対応セミナーを開催します。
 - 『我が事・丸ごと』地域共生社会」セミナーを開催します。

3) ツール作成

- ① 自治体や事業所のPV(プロモーションビデオ)を製作します。
 - WEBやYouTubeを使った事業の見える化を支援します。
 - 自治体の職員募集のPVづくりを支援します。
 - 事業者の事業紹介、組合員増やしなどのPVづくりを支援します。

(3) 理論・実践普及部門

1) 講演活動

- ① 医療・福祉、協同組合に関する講演活動を実施します。
 - 情勢、医療・介護経営、協同組合に関する講演を受託します。

2) 出版部門

- ① アルスヴィータの思想を広めるため、書籍を出版します。
 - 日野理事長やアルスヴィータの会員の理論政策活動、実践をまとめ、出版します。

- 情勢やまちづくりに関するアルスヴィータの考え方をまとめて出版します。
- けいはん医療生協幹部育成研修のテキストをまとめ、出版できるよう準備します。

3) **視察部門**

- ① 離島の医療・福祉に関する視察ツアーを実施します。
 - 離島の医療・福祉の実態を知るためのツアーを実施します。
 - 離島での人材交流を支援します。